



好きなこと、夢中になれることありますか？

『ぼくの将来の夢は、将棋のプロ棋士になることです。弱いプロではなく、一流のトップクラスのプロになりたいです』・・・小学校の卒業文集にそう書いた少年は、12年後、山口県将棋界の悲願だった県初のプロ棋士になりました。

自分の夢を叶え、その道のパイオニアとして活躍している人々がたくさんいます。最近では、大谷翔平選手の二刀流の活躍を思い浮かべる人も多いことでしょう。もちろん語り尽くせないほどの努力を重ねてきたのですが、共通しているのは、「好きなことを楽しみながら続ける」ということのようにです。県初のプロ棋士徳田さんも「将棋を楽しむことが1番大切なことなので、それを忘れず取り組んでほしい」と子どもたちにメッセージを送っています。【山口新聞より】

御庄小学校の児童も「校長先生、今日の試合勝ったよ」「わたしは短距離走が得意」など好きなことについて進んで話してくれます。好きなことが将来の夢につながるかどうかは別として、夢をもつこと、好きなことや夢中になれるものがあるということは、その人の心身の成長の大きな支えになります。まずは、好きなことが見つけられるといいですね。



1年生を迎える会

運動場で、1年生を迎える会を行いました。最初に、1年生ひとりひとりを紹介した後、縦割り班の上級生からメッセージ付きの王冠がプレゼントされました。その後は生活運営委員会の企画により、密を避けたゲームをみんなで楽しみました。黄金に輝く王冠を1年生が嬉しそうにかぶり、大切に持ち帰る姿が印象的でした。

コミュニケーション力の育成

本校では、子どもたちが未来に生きるために必要な力として「コミュニケーション力の育成」に特に力を入れています。授業においても子ども同士で対話する場を設けることで、深い学びへとつなげています。また、授業以外でも発達段階に応じた言語活動を継続的に取り入れていく予定です。



班での対話場面

凡事徹底

ある日の靴箱の様子です。全校児童の靴がぴたりとそろっています。子どもたちの心が表れているようで、嬉しくなりました。

